

会 議 録 (1)

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 会 議 の 名 称             | 令和2年度 第3回入間市博物館協議会   |
| 開 催 日 時               | 令和3年3月19日(金)<br>午前10時00分開会・午前11時50分 閉会   |
| 開 催 場 所               | 入間市博物館 会議室   |
| 議 長 氏 名               | 中林敦子 会長  |
| 出席委員(者)氏名             | 町田郁夫副会長 奥田貴哉委員 酒元希朱委員 中込勝英委員<br>内田さよ子委員 清水裕司委員 田中晃一委員 横田力男委員<br>石川真弓委員   |
| 欠席委員(者)氏名             | 欠席者なし  |
| 説明者の職氏名               | 加藤館長 石川副館長 大久保主幹 小椋主幹<br>梅津副主幹 津久井副主幹 小田部副主幹 平田主任<br>いるまミュージアムパートナーズ・飯島責任者   |
| 会 議 次 第<br>(公開・非公開の別) | <令和2年度 第3回入間市博物館協議会><br>1 開会<br>2 会長あいさつ<br>3 博物館長あいさつ<br>4 議事<br>(1) 協議事項<br>① 「入間市博物館基本計画」の進捗状況について<br>5 その他<br>① 「東日本大震災 写真パネル展」のご案内<br>6 閉会<br><br>公開・非公開の別 全て公開 |
| 非 公 開 理 由             |  |
| 傍 聴 者 数               | 0人   |
| 配 布 資 料               | 資料1 博物館基本計画進捗状況(前回配布)<br>資料2 令和元年度 博物館事業外部点検評価シート<br>「NEWS ALIT」第99号<br>「入間市博物館 令和3年度行事カレンダー」<br>旧黒須銀行公開日チラシ<br>旧黒須銀行関連グッズ   |
| 事務局職員職氏名              | 新見教育部長 片寄教育部次長 加藤館長 石川副館長<br>大久保主幹 小椋主幹 梅津副主幹 津久井副主幹 小田部副主幹<br>平田主任 いるまミュージアムパートナーズ・飯島責任者  |
| 会議録作成方法               | 要点筆記   |

## 会 議 録 (2)

| 議事の概要（経過）・決定事項       |   |
|----------------------|---|
| 議 事 の 概 要<br>( 経 過 ) | <p>&lt;令和2年度 第3回入間市博物館協議会&gt;</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>① 「入間市博物館基本計画」の進捗状況について【資料1】</p> <p>5 その他</p> <p>① 「東日本大震災 写真パネル展」のご案内</p>   |
| 決 定 事 項              | <p>&lt;令和2年度 第3回入間市博物館協議会&gt;</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>前回会議に引き続き「入間市博物館基本計画」の進捗状況について、事務局側から項目ごとに進捗状況と自己評価の説明が行われ、内容に関する質疑応答があった。今回は【資料1】</p> <p>(6) 生涯学習と協働事業の充実から協議した。</p> <p>5 その他</p> <p>① 「東日本大震災 写真パネル展」について担当者より説明があった。</p> <p>②現在の博物館協議員については本年度をもって任期が終了となるため、各委員より挨拶があった。</p> |

会 議 録 ( 3 )

| 発 言 者    | 発 言 内 容  |
|----------|--|
|          | <p><b>4 議 事</b><br/> <b>(1) 協議事項</b><br/> <b>①「入間市博物館基本計画」の進捗状況について</b></p>  |
| 中林会長(議長) | <p>次に、次第の「4」、議事「(1) 協議事項」に入ります。本日の議題は、前回に引き続き、「入間市博物館基本計画」の進捗状況についてです。まず、本日の協議に入る前に、前回の会議で委員の皆様からご提出いただきました「令和元年度 博物館事業 外部点検評価」がまとまりましたので、検討の材料として、事務局からご報告いただきたいと思ひます。</p>  |
| 事務局      | <p>【資料2の内容を説明】</p>   |
| 中林会長(議長) | <p>ありがとうございました。続いて、協議に入ります。前回の会議では【資料1】の大項目(5)までを協議しました。本日は、大項目(6)から協議します。それでは、事務局からの説明をお願いいたします。</p>  |
| 事務局      | <p>【資料1 大項目(6)の内容を説明】</p>  |
| 横田委員     | <p>紀要の発刊は2年に1度とのことですが、紀要というのは調査研究の成果を発表する場であり、学芸員の活動成果が表れるものだと思います。これは、博物館自身のポテンシャルを高めるのに大切なものと考えますが、論文執筆等に割く時間は十分あるのでしょうか。事業が多くある中で、執筆にどの程度の時間が確保できるのか、お聞きしたいです。</p>  |
| 小田部副主幹   | <p>紀要の原稿は、日常的に様々な事業を実施し、調査研究を行っていく中で、論文にまとまりそうな情報を集めていき、その蓄積を抽出して作成するような流れとなっています。したがって、紀要を書くために特別な時間を設けるといふような形はとっていません。</p>  |
| 横田委員     | <p>例えば、出前授業を行うにも深い研究に基づく専門的な知識がないといけません。それを担保するために、専門性を高める最終目標が紀要となるかもしれません。紀要に限らず、研究の成果を外に出すことは、博物館の事業計画の中でも重要な位置付けととらえていただきたいです。</p>   |
| 小田部副主幹   | <p>近年の紀要の傾向として、関係者や専門家との共同執筆や、学芸員が収集した調査成果をベースとし、それに関する専門の研究者からの寄稿などが増えています。また、市民やボランティアとの共同研究もあり、学芸員はそういった研究のコーディネーター役として携わっている場合も多くあります。学芸員の研究成果を外に出すだけでなく、お茶大学や特別展などの事業と複合的に関係しながら、博物館外の方とも協力しつつ紀要を作成していく形となっております。</p> |
| 横田委員     | <p>積極的に外部の方と協力して研究を進める事は、良い事だと思います。</p>  |
| 加藤館長     | <p>当館は公立の博物館ですので、研究のみならず、展示・解説など市民に対する公開活動を行う必要があります。そうした中、十分な研究ができ</p>  |

|          |  |
|----------|--|
|          | <p>ず、紀要の執筆も難しくなったという部分もあります。紀要については、以前は毎年発行でしたが、現在は2年に1回発行という形となってしまいました。最低でも2年に1回は発行できるよう努力してまいります。</p>   |
| 奥田委員     | <p>ボランティア会員の募集はどのような形で行われていますか。高齢化が進んでいるとの事ですので、例えば中学校などと連携し、若くて興味のある人に来てもらえるよう、説明に向いてみてはどうでしょうか。</p>  |
| 津久井副主幹   | <p>ボランティアの募集については随時行っており、募集案内はニュースアリット等に記事を載せる形などをとっています。過去には、博物館内や市役所市民ホールなどにおいて、募集のために各部会の活動内容を説明する展示も行いました。若い方については、東野高校と連携して活動を行う話なども出てきております。コロナ禍が落ち着きましたら、東野高校だけではなく、ほかの教育機関との連携も検討してみたいところです。</p> |
| 中林会長(議長) | <p>他にご意見が無ければ、続いて大項目(7)の説明をお願いします。</p>   |
| 事務局      | <p><b>【資料1 大項目(7)の内容を説明】</b></p>   |
| 田中委員     | <p>青丘庵の貸し出しについてですが、今年度はコロナのため利用可能な人数が少なく、学校授業をお手伝いする際に大変でした。青丘庵の利用人数については、今後どのような形に変わっていきますか。</p>  |
| 小椋指導主事   | <p>青丘庵は10月8日より利用可能な人数を24名としており、学校での利用の際には、生徒15名に茶席を運営する茶道連盟の方や当館の運営スタッフを足して24名以内となるよう調整していただきました。</p>  |
| 石川副館長    | <p>博物館としましては、緊急事態宣言が解除されて以降も、10月8日に決定した利用可能人数を維持する方針であり、人数を増やす時期は今のところ決定していません。決まり次第連絡させていただきます。</p>   |
| 町田委員     | <p>常設展示の改修については、具体的な日程は決まっていますか。</p>   |
| 石川副館長    | <p>予算の関係もあり、財政当局と協議中ではありますが、令和4年度から歴史の展示室を改修する方針で話を進めているところです。</p>   |
| 中林会長(議長) | <p>ありがとうございました。続いて大項目(8)の説明をお願いします。</p>  |
| 事務局      | <p><b>【資料1 大項目(8)の内容を説明】</b></p>   |
| 奥田委員     | <p>(7)―1は評価1で、(8)―1が評価5、(8)―5が評価3となっておりますが、評価基準がわかりかねますので、ご説明いただけますか。</p>  |
| 小田部副主幹   | <p><b>【資料1】</b>では、評価5～1について「進展あり」「やや進展あり」「現状維持」「やや後退」「後退」の5段階を設けております。(7)―1は、目標が市民文化活動の支援強化となっており、市民ギャラリーや特別展示室の一般貸出がどのくらいあったかが評価基準となります。館の直営事業や、指定管理者の自主事業によって、会場を使用する期間が増加す</p>                        |

|          |  |
|----------|--|
|          | <p>ると、一般貸出の利用件数が減少してしまうため、評価1「後退」となりました。また、(8)―1については、指定管理者による新規の顧客開拓ができたため、評価5「進展した」となりました。(8)―5については、協議会による答申をいただきましたが、計画は進展していないので、評価3「現状維持」とさせていただきます。</p>   |
| 横田委員     | <p>館庭の利用の仕方として、入間市博物館では遊具を設けないという考え方があったと思います。最近では遊具がある道の駅等もあります。来館者を増やす目的で今後館庭に遊具等を増やす事はできるのでしょうか。来館者が来なければ施設も事業も評価されませんので、目玉を別に持っていき、博物館自身を知ってもらうきっかけとするのも良いかと思えます。</p>  |
| 津久井副主幹   | <p>現状、常設遊具の設置については検討しておりません。遊具を設置すると公園としての法的拘束が発生するほか、安全管理も必要となります。また、当館の建設当時における考え方として、「遊具を置かない事で楽しめる施設」を作りたいという見方もあって、遊具が設置されなかったという話もありました。ただ、指定管理者の柔軟なイベント運営により、「ミニSL」や「ふわふわ」など、イベント的に目新しいものを置き、集客に繋げる事も行ってまいります。また、今後の施設整備の中では、遊具を置くというご意見も、検討内容の一つとして加えていければと思います。</p> |
| 加藤館長     | <p>館庭に常設で新しいものを設置する事は、その後の維持管理の問題もあり、難しさを伴います。現状、多目的広場という括りの中で、仮設に遊具を置き、イベント等を実施する事によって誘客につなげたいと考えています。</p>  |
| 中林会長(議長) | <p>わかりました。続いて大項目(9)の説明をお願いします。</p>   |
| 事務局      | <p><b>【資料1 大項目(9)の内容を説明】</b></p>   |
| 奥田委員     | <p>今回配布していただいた旧黒須銀行缶バッジの単価はいくらですか。</p>   |
| 梅津副主幹    | <p>袋代等含め50円ほどです。なお、缶バッジは博物館で材料を購入の上、職員で手作りしたものとなります。</p>   |
| 田中委員     | <p>旧黒須銀行も西洋館も、手を入れなければならない部分がたくさんあり、職員も苦労がある事だろうと思います。現在、博物館のエントランスに渋沢栄一の展示がされていましたが、このような展示を旧黒須銀行でも実施する事はできないのでしょうか。</p>  |
| 平田主任     | <p>先日の旧黒須銀行特別公開日では、広報誌の特集記事をパネル化した展示を行い、渋沢栄一との関係も紹介しました。今後は、現在のエントランス展示をベースとしたパネル等を旧黒須銀行に展示する事も検討中です。</p>  |
| 梅津副主幹    | <p>現在、黒須銀行に関する広報の特集記事などをまとめた冊子を、広報課と博物館で協力の上、制作中です。博物館にも多くの部数が配布予定ですので、今後、旧黒須銀行での詳しい解説に役立ててまいります。</p>  |

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 中林会長(議長)                             | ありがとうございます。では、大項目(10)の説明をお願いします。  |
| 事務局                                  | 【資料1 大項目(10)の内容を説明】   |
| 田中委員                                 | フィルム収蔵庫にはどんなフィルムが収蔵されているのですか。   |
| 梅津副主幹                                | 多くがスチールカメラ(写真)のフィルムとなります。フィルムカメラ時代に博物館で撮影した資料写真や、古いガラス乾板の写真、古写真の原板類、ビデオテープ、カセットテープ、16mmフィルムなども収蔵しております。収蔵庫は部屋ごとに温湿度を変える事ができ、フィルム収蔵庫は低温・低湿度で資料を収蔵できる環境となっています。 |
| 奥田委員                                 | フィルム収蔵庫の資料はデジタル化されているのでしょうか。  |
| 梅津副主幹                                | 多くの資料がデジタル化されていますが、全て完了してはいません。優先順位をつけ、デジタル化が望ましいものから進めているところです。なお、デジタル化は元の資料を維持していくために実施しており、デジタル化後も、元のフィルムは資料として保管しています。                                    |
| 中林会長(議長)                             | ありがとうございます。そのほか全般的なご意見・ご感想はありますでしょうか。⇒意見なし。<br>それでは、以上をもちまして議長の職を降ろさせていただきます。【資料1】に関し、協議した内容については、来年度以降の博物館協議会にも活かしていただければと思います。ご協力ありがとうございました。               |
| 議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 |   |
| 年 月 日                                |   |
| 議 長 の 署 名                            | _____   |
| 議長が指名した者の署名                          | _____   |